

出エジプト記 11-12 主の過ぎ越し

本日は出エジプト記11章に入り、イスラエルの民が実際にエジプトを出ていく場面、つまり、エジプトの地を離れる場面を見ていきますが、彼らは「追い出される」形でエジプトを脱出します。彼らの解放をもたらしたのは、最後の災いでした。そして、この最後の災いの中にこそ、神がイスラエルの民を通じてなされる、イスラエルだけでなく人類全体にもたらされる贖いと救いの御わざが示されているのです。これまでに9つの災いがあり、それぞれが、エジプト人が拝んでいた偽りの神々を打ち砕いてきました。しかし、この最後の災いは、その性質がまったく異なるものです。それでは、11章1節から始めましょう。¹主はモーセに言われた。「わたしはファラオとエジプトの上に、もう一つのわざわいを下す。その後で彼は、あなたがたをここから去らせる。彼があなたがたを去らせるときには、本当に一人残らず、あなたがたをここから追い出す。この災いの後、神は次のように言われます。ファラオは単にあなたがたの出発を許すのではなく、むしろあなたがたを追い立て、エジプトの地から押し出すであろうと。そして11章10節では、これまでのファラオの反応と、神が彼の心をかたくなにされたことが要約されています。¹⁰モーセとアロンは、ファラオの前でこれらの奇跡をすべて行った。主はファラオの心を頑なにされ、ファラオはイスラエルの子らを自分の国から去らせなかった。

しかし私たちがここで見るのは、この一連の災いにおいて、イスラエルの民を苦しみから真に解放したのは、ファラオの善意ではなく、子羊の血であったということです。それでは、出エジプト記12章1節から読み進めていきましょう。主はエジプトの地でモーセとアロンに言われた。²「この月をあなたがたの月の始まりとし、これをあなたがたの年の最初の月とせよ。³イスラエルの全会衆に次のように告げよ。この月の十日に、それぞれが一族ごとに羊を、すなわち家ごとに羊を用意しなさい。⁴もしその家族が羊一匹の分より少ないのであれば、その人はすぐ隣の家の人と、人数に応じて取り分けなさい。一人ひとりが食べる分量に応じて、その羊を分けなければならない。⁵あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。⁶あなたがたは、この月の十四日まで、それをよく見守る。そしてイスラエルの会衆の集会全体は夕暮れにそれを屠り、と書かれています。この子羊に関わる出来事は非常に重要で、イスラエルの民にとっての時間の基準、暦の基準さえも決めるものとなりました。神は彼らに、日常生活の中の時間のようない見ありふれた側面さえも、神の働きと結びつけて捉えるべきであることを教えておられるのです。そしてそれは、神が私たちすべての人のために行ってくださいる最も重要な働き、すなわち贖い、救いそのものを表しています。さらに読み進めると、この子羊（または子やぎ）が単なる食事ではないことがわかります。7節から13節には、こう書かれています。⁷その血を取り、羊を食べる家々の二本の門柱と鴨居に塗らなければならない。⁸そして、その夜、その肉を食べる。それを火で焼いて、種なしパンと苦菜を添えて食べなければならない。そして、11節に飛んで、¹¹あなたがたは、次のようにしてそれを食べなければならない。腰の帯を固く締め、足に履き物をはき、手に杖を持って、急いで食べる。これは主への過越のいけにえである。¹²その夜、わたしはエジプトの地を巡り、人から家畜に至るまで、エジプトの地のすべての長子を打ち、また、エジプトのすべての神々にさばきを下す。わたしは主である。¹³その血は、あなたがたがいる家の上で、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。わたしがエジプトの地を打つとき、滅ぼす者のわざわいは、あなたがたには起こらない。ここで、なぜこの子羊または子やぎがささげられたのか、その理由にたどり着きます。その肉は、エジプトを離れる旅路に備えて力を得るために食べられましたが、それ以上に重要なのは、これは血の生贄であったという点です。その生贄の血は、家の門柱と鴨居に塗られました。それは、神がその夜エジプト全土を通して災いをもたらす時、すべての初子（人も動物も）を打たれる中で、戸口に血が塗られている家には災いが及ばないようにするためでした。家に塗られたその血こそが、その家にいるすべての者を救ったのです。ここで、重要なのは、この最初の過越が、何時間も食卓を囲んでくつろぎ楽しむような食事ではなかったということです。彼らは、すぐにエジプトを出発し、神が導かれる場所で礼拝をささげることができるよう準備を整えた状態で、この食事をするように命じられていました。門柱に塗られた血は彼らを災いから守るだけでなく、彼らをエジプトの奴隷状態から迅速に、つまり即座に解き放つ引き金となるものでした。神は、彼らに、生贄をささげてから数日待って救いを与えるようなことはなさいませんでした。すべてはその瞬間に起こるのです。このような解放の切迫感、新約聖書における罪からの救いの呼びかけにも見られます。第二コリント人への手紙6章1-2節には、こう書かれています。私たちは神とともに働く者と

して、あなたがたに勧めます。神の恵みを無駄に受けないようにしてください。²神は言われます。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、あなたを助ける。」見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。私たちにとって、救いは緊急の課題です。なぜなら、私たちの誰一人として、自分がいつまで生きられるのかを知らないからです。その夜、エジプト中で子どもも大人も突然死んでいきました。ヘブル人の友人や隣人から警告を受け、生贄の血を門柱に塗っていなければ、その死を防ぐことはできなかったのです。あなたも私も、自分がいつ死ぬのかはわかりません。だからこそ、肉体的にも霊的にも私達を死においやる罪から解放されることは、私たちにとって緊急の課題なのです。罪の問題とは、神のご性質そのものを冒瀆することにあります。ローマ人への手紙6章23節には、²³**すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**と書かれています。燃える柴の中で、そしてその後の数々の災いの中で、神はご自身の栄光をはっきりと示されました。しかし、私たちの罪――すなわち、神の栄光を現さず、神が道徳的に誤っていると定められたことを行うこと――が、私たちを神の栄光から引き離し、神ご自身との交わりから遠ざけ、私たちを神の怒りのもとに置いているのです。

この時、もう一つの祭りが制定されていますが、本日は時間の都合上ここでは詳しく読みません。しかし、過越の祭りの終わりに、神は種なしパンの祭りを制定されました。マルコの福音書で、種なしパンのことに触れたのを覚えているかもしれませんが、家の中からパン種を完全に取り除くこの1週間は、民の間に求められる「聖さ（聖なること）」を象徴していました。この祭りは、私たちがどれほど努力しても自らを聖くすることはできず、私たちは聖なる者ではなく、罪人であるという事実を示しています。しかし、その7日間の最後、過越の時にこそ、聖さと純潔の唯一の源が明らかになります。それは、罪に満ちた私たちの人生に注がれる純粋な血なのです。5節に戻ると、この子羊が「**傷のない**」ものでなければならぬ、すなわち動物として可能な限り完全なものでなければならなかったことがわかります。これは、私たちの救い主イエス・キリストにおいて成就されたことです。しかし、民はモーセが21～23節で明確に語っているように、生贄の血で覆われた戸の内側にとどまっていなければなりませんでした。²¹**それから、モーセはイスラエルの長老たちをみな呼び、彼らに言った。『さあ、羊をあなたがたの家族ごとに用意しなさい。そして過越のいけにえを屠りなさい。』²²ヒソブの束を一つ取って、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血を鴨居と二本の門柱に塗り付けなさい。あなたがたは、朝までだれ一人、自分の家の戸口から出てはならない。²³**主はエジプトを打つために行き巡られる。しかし、鴨居と二本の門柱にある血を見たら、主はその戸口を過ぎ越して、滅ぼす者があなたがたの家に入って打つことのないようにされる。27節から28節に移ると、²⁷あなたがたはこう答えなさい。『それは主の過越のいけにえだ。主がエジプトを打たれたとき、主はエジプトにいたイスラエルの子らの家を過ぎ越して、私たちの家々を救ってくださったのだ。』**すると民はひざまずいて礼拝した。²⁸**こうしてイスラエルの子らは行って、それを行った。主がモーセとアロンに命じられたとおりに行った。****

神に対する礼拝として、またご自身のさばきから救ってくださるという信仰の印として、戸口に塗られたその血によって、血の内側にいる者たちは救われました。しかし、血のない者たちはどうだったのでしょ。この災いが私たちに示しているのは、**この血なしには救いは存在しない、**という真実です。それでは、29～32節を続けて読んでいきましょう。²⁹**真夜中になったとき、主はエジプトの地のすべての長子を、王座に着いているファラオの長子から、地下牢にいる捕虜の長子に至るまで、また家畜の初子までもみな打たれた。**³⁰**その夜、ファラオは彼の全家臣、またエジプト人すべてとともに起き上がった。そして、エジプトには激しく泣き叫ぶ声が起こった。それは死者のいない家がなかったからである。**³¹**彼はその夜、モーセとアロンを呼び寄せて言った。『おまえたちもイスラエル人も立って、私の民の中から出て行け。おまえたちが言うとおりに、行って主に仕えよ。』³²おまえたちが言ったとおり、羊の群れも牛の群れも連れて出て行け。そして私のためにも祝福を祈れ。』**しかしこの出来事は、私たちすべての人が生まれたその日から置かれている状況を表しています。ローマ人への手紙5章12節には、こう書かれています。¹²**こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に、と。**私たち一人ひとりには、この肉体の命が終わるときがやってきます。ヘブル人への手紙9章27節には、こう書かれています。²⁷**そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、と。**しかし、肉体の死の後に待っているそのさばきは、実は

別の種類の「死」を指し示しています。聖書は、私たちが肉体的には生きている間でさえ、すでにその「死」の中にあると語っています。エペソ人への手紙2章では、私たちが実際には罪の中で霊的に死んでいること、そしてそのことによって神のさばき、つまり、罪に対する神の怒りのもとに置かれていることが述べられています。エペソ人への手紙2章1節から2節には次のように書かれています。¹さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、²かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。³ 私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。私たちは、イエス・キリストの血による贖いにあずかっていなければ、霊的に死んだままであり、永遠の死、すなわち地獄、に直面しています。それはちょうど、戸口に血が塗られていなかった家に死の災いが下ったのと同じことなのです。

しかし、血によって贖われた者たちには、完全な解放がもたらされただけでなく、祝福も与えられました。それでは、31節を続けて読みましょう。³¹彼はその夜、モーセとアロンを呼び寄せて言った。「おまえたちもイスラエル人も立って、私の民の中から出て行け。おまえたちが言うとおりに、行って主に仕えよ。³²おまえたちが言ったとおり、羊の群れも牛の群れも連れて出て行け。そして私のためにも祝福を祈れ。」この解放には、いかなる条件もついていませんでした。ファラオは完全に敗北し、「持っているものすべてを連れて出て行け…それから、主を礼拝するときには私の祝福も祈ってくれ！」とさえ言ったのです。ファラオは本当にイスラエルの神の偉大な栄光を認めたのでしょうか？いいえ、彼が後に心変わりすることからも、ファラオが神の栄光を認めていなかったことは明らかです。しかしここで私たちは、イスラエルの民が完全に解放されるだけでなく、エジプト人からの大きな財宝や報いを携えて出て行く姿を見るのです。では、36節を見てみましょう。³⁶主はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプト人は彼らの求めを聞き入れた。こうして彼らはエジプトからはぎ取った。彼らの解放、つまり救いは、単に自由をもたらしただけではありません。そこには富さえも伴っていました。不思議で超自然的な展開の中で、神は、これまでイスラエルの民を奴隷としてきたエジプト人たちの心を動かし、イスラエルの民に好意を持たせたのです。人々が新たな生活を始めるにあたって、金や銀などの価値のある品々を求めると、隣人たちはそれらを惜しみなく与えました。神はこのようなことをなさる必要があったのでしょうか？もちろん、ありません。それでも神はそうされたのです。なぜなら、数週間前にも見たように、神の聖さとは、同時に神の善さを意味するからです。神はご自身の民をエジプトからただ解放するだけでなく、その必要を満たし、祝福をも与えてくださったのです。これは今日でも変わりません。私たちはすでにローマ人への手紙6章23節の前半、「罪の報酬は死です。」という真理を見てきましたが、ここではその節の後半にある真理を見て取ることができます。「しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」そしてこのいのち、すなわち神から与えられる永遠のいのちという祝福は、肉体の死の後に天において始まるものではありません。それは、私たちが救いを受けたその瞬間から、この地上の肉体をもって生きているこの時に始まるのです。そのことを、私たちはヨハネの福音書10章10節において、「神の小羊」であるイエス・キリストが次のように語られているのを通して、私たちは知ることができます。¹⁰盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。私たちが自らの罪を悔い改め、私たちのために流されたイエスの血によって救いを求めるとき、私たちは単に罪からの自由を与えられるだけでなく、神の恵みと祝福に満ちあふれる豊かな命が与えられるのです。それは、私たちが常にそれに気づいているかどうかにかかわらず、その豊かな恵みと祝福が注がれているのです。

さて、実際の出エジプトの出来事は、出エジプト記12章37～38節に記されているとおりに起こります。³⁷イスラエルの子らはラメセスからスコテに向かって旅立った。女、子どもを除いて、徒歩の壮年男子は約六十万人であった。³⁸さらに、入り混じって来た多くの異国人と、羊や牛などおびただしい数の家畜も、彼らとともに上った。40節と41節には次のように書かれています。⁴⁰イスラエルの子らがエジプトに滞在していた期間は、四百三十年であった。⁴¹四百三十年が終わった、ちょうどその日に、主の全軍団がエジプトの地を出た。そしてこの出エジプトの出来事と、12章の最後のことばの中に、重要な最後の問いへの答えが示されています。過越の子羊の恵みを受けることができるのは誰か？その答えは、47～51節にあります。⁴⁷イスラエルの全会衆はこれを行わなければならない。⁴⁸も

し、あなたのところに寄留者が滞在していて、主に過越のいけにえを献げようとするなら、その人の家の男子はみな割礼を受けなければならない。そうすれば、その人は近づいてそれを献げることができる。彼はこの国に生まれた者と同じになる。しかし無割礼の者は、だれもそれを食べてはならない。⁴⁹このおしえは、この国に生まれた者にも、あなたがたの間に寄留している者にも同じである。」

⁵⁰イスラエルの子らはみな、そのように行った。主がモーセとアロンに命じられたとおりに行った。

⁵¹まさにこの日に、主はイスラエルの子らを、軍団ごとにエジプトの地から導き出された。私たちはこの出来事をイスラエルの民の解放と捉えています。これはイスラエルの民だけに起こった出来事ではなかったことを見落としてはいけないのです。38節には「**入り混じって来た多くの異国人**」も共に出て行ったとあります。つまり、戸口に血を塗っていて、イスラエル人ではなかった人々も共に出て行ったのです。そして48節と49節では、神が毎年の過越の祝いにおいて、イスラエル人だけでなく、神の契約のしるし、割礼、を受け入れる意思のある異国人も含めるよう命じておられます。これは非常に大きな意味を持ちます。救いは初めからユダヤ人だけのものではなかったのです。確かに神はユダヤ人を通して救い主をお遣わしになりましたが、キリスト以前においても、すべての人が来るべきこの一人のメシアによって結ばれていたのです。これはとても重要な点です。なぜなら、キリストが来られた後の教会においても、過越の食事ではありませんが、主の晩餐を通して、同じように流された血を覚えるからです。そして、最初の過越の食事が、エジプトを出た百万人以上のユダヤ人と異邦人のすべての人々によって一致のうちに行われたように、私たちもまた、主の晩餐、主の食卓において、同じように一つとなって集まるのです。それは、私たちがどこから来たのか、どんな言語を話すのかにかかわらず、キリストにあって一つとされているということを表しています。では、子羊の血によって恵みを受けることができるのは誰か？誰でもです！しかし、私たちは神が定めた方法によってその恵みにあずかなければなりません。子羊の生贄の血によって覆われ、家の中でその血によって守られていた者だけが、災いから免れ、救われたのです。この出来事は、時を超えて救いがどのようにもたらされるかを象徴しています。すなわち、私たちの罪は、傷のない神の完全な子羊の血によって覆われる必要があるのです。その子羊こそが、イエス・キリストなのです。ペテロの手紙 第一 1章18~21節には次のように書かれています。¹⁸ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはならず、¹⁹傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです。²⁰キリストは、世界の基が据えられる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために現れてくださいました。²¹あなたがたは、キリストを死者の中からよみがえらせて栄光を与えられた神を、キリストによって信じる者です。ですから、あなたがたの信仰と希望は神にかかっています。私たちは、神の御子イエス・キリストの血によって、罪から救い出され、創造主である神との関係を回復させられるのです。そしてイエスは、ヨハネの福音書6章37節でこう語っておられます。³⁷父がわたしに与えてくださる者はみな、わたしのもとに来ます。そして、わたしのもとに来る者を、わたしは決して外に追い出したりはしません。今日、あなたがどのような人間であれ、どこから来た人であっても、これまでに何をしてきたとしても、罪を悔い改め、イエスをあなたの主、あなたの救い主として受け入れるならば、イエスのもとに来ることができます。そうするとき、あなたはイエスの血によって覆われ、父なる神に受け入れられ、死のさばきから解放され、永遠のいのちにあずかる者とされるのです。

もしあなたがすでにキリストを信じて罪を悔い改め、バプテスマを受けることで従順を示しているなら、ぜひこの聖餐にご参加ください。この聖餐は、過越の祝いに由来するものであり、私たちに直接受け継がれているものです。けれども、まだキリストを受け入れていない方、あるいはバプテスマを受けていない方には、どうかパンと杯を取ることを控えていただき、なぜ私たちが今日このことを行っているのか、そしてそれがあなたのために捧げられた生贄を意味していることに、思い巡らしていただきたいのです。保護者の方々には、もしお子さんがまだ信仰の準備ができていない場合には、参加を控えさせることによって、この食事の大切さを教えていただきたいと思います。それでは今から祈りをささげ、その後、執事たちが会堂の四隅からパンとぶどう酒を配ります。私たちは共に食べ、共に飲むことで、キリストの血によって結ばれた一つのからだとしての一致をあらわします。祈りましょう。

Exodus 11-12 The Passover

Today we come to chapter 11 of Exodus where we see the actual exodus itself – the Israelites leaving, really being pushed out of the land of Egypt. But it is the final plague that leads to that deliverance. And it is in this final plague that we see a picture of redemption and salvation that God is working not just for Israel but for the entire human race through the people of Israel. There have been 9 plagues before this, each attacking different false gods that the Egyptians worshipped. But this last plague is very different. Let's begin with verse 1 of chapter 11. **11:1 The Lord said to Moses, "Yet one plague more I will bring upon Pharaoh and upon Egypt. Afterward he will let you go from here. When he lets you go, he will drive you away completely.** After this plague, God says Pharaoh will not just allow you to leave, he will drive you away...he will push you out of Egypt. Then verse 10 summarizes the reaction that Pharaoh has had up until this point and the hardness that God has brought to Pharaoh's heart. **11:10 Moses and Aaron did all these wonders before Pharaoh, and the Lord hardened Pharaoh's heart, and he did not let the people of Israel go out of his land.**

But what we will see is that as the end of this series of plagues, it is not the goodness of Pharaoh that brings real deliverance from their suffering, **but it is the blood of a lamb that brings deliverance.** Let's pick up our reading with verse 1 of chapter 12. **12:1-**

13 The Lord said to Moses and Aaron in the land of Egypt, ²"This month shall be for you the beginning of months. It shall be the first month of the year for you. ³Tell all the congregation of Israel that on the tenth day of this month every man shall take a lamb according to their fathers' houses, a lamb for a household. ⁴And if the household is too small for a lamb, then he and his nearest neighbor shall take according to the number of persons; according to what each can eat you shall make your count for the lamb. ⁵Your lamb shall be without blemish, a male a year old. You may take it from the sheep or from the goats, ⁶and you shall keep it until the fourteenth day of this month, when the whole assembly of the congregation of Israel shall kill their lambs at twilight.^[a]

This event involving lambs was so important that it would divide time for the Israelites. God was teaching them that even such mundane aspects of their lives as time itself should be connected to his work in their lives. And this is the most significant work he does for any of us – redemption, salvation itself. And as we continue we see the significance of this lamb (or kid goat), which is not just for a good meal. Verses 7-13 says, **⁷"Then they shall take some of the blood and put it on the two doorposts and the lintel of the houses in which they eat it. ⁸They shall eat the flesh that night, roasted on the fire; with unleavened bread and bitter herbs they shall eat it. Then drop down to verse 11...¹¹ In this manner you shall eat it: with your belt fastened, your sandals on your feet, and your staff in your hand. And you shall eat it in haste. It is the Lord's Passover. ¹²For I will pass through the land of Egypt that night, and I will strike all the firstborn in the land of Egypt, both man and beast; and on all the gods of Egypt I will execute judgments: I am the Lord. ¹³The blood shall be a sign for you, on the houses where you are. And when I see the blood, I will pass over you, and no plague will befall you to destroy you, when I strike the land of Egypt.** Now we get to the reason for the sacrifice of this lamb or goat. Yes, it would be eaten to give strength for their coming journey away from Egypt, but more importantly, it would be a blood sacrifice. And that blood from that sacrificial animal would be rubbed on the doorposts and the beam above the door so that as God passed through the nation of Egypt that night delivering one final plague of death on every first born human and animal in Egypt, every family with the blood on the door would be spared. It was the blood applied to the house that saved everyone in that house. And it is important that this first passover is no leisurely meal to relax and enjoy for hours around a table. They were to eat it ready to leave, ready to go out Egypt to worship their God in the place where he would take them. The blood on the doorpost would save them from the plague, but it would also be the catalyst freeing them

quickly, immediately even, from the bondage of Egypt. God was not going to have them kill a lamb, wait a few days and then have their salvation. Everything would happen immediately. There is an urgency to their deliverance that we also see when we look at the New Testament call to salvation and deliverance from our sin. [2Corinthians 6:1-2](#) says, [Working together with him, then, we appeal to you not to receive the grace of God in vain. 2 For he says, "In a favorable time I listened to you, and in a day of salvation I have helped you."](#) Behold, now is the favorable time; behold, now is the day of salvation. Your salvation is a matter of urgency, because none of us know the length of our lives. All across Egypt that night, children and adults would suddenly die and unless they had been warned by Hebrew friends or neighbors and applied blood to their doorposts, there would be nothing that would stop that from happening. You and I do not know when we will die, and the urgency to seek deliverance from sin that leads to physical and spiritual death confronts each one of us. The problem with sin is that it is an affront to the character of God. [Romans 3:23](#) tells us that all have sinned and fall short of the glory of God. In the burning bush and then in the plagues, God has declared his glory. But our sin- doing anything that is not glorifying to God and determined by him to be morally wrong- has kept us apart from God's glory and separated from him, under his wrath.

There was actually another feast instituted at this same point that we won't read about for sake of time. But at the end of these instructions for the Passover, God institutes the feast of unleavened bread. If you remember in Mark we discussed this in relation to the Passover celebration there, that this week of removing all leaven in the home represented the need for holiness among the people. It demonstrates for us the fact that as hard as we try, we are not holy, but sinners. But it is in the passover itself at the end of those seven days that we see the only real source of holiness and purity – the application of pure blood to our sinful lives. Going back to verse 5, we see the need for this lamb to be **"without blemish..."** to be as perfect as an animal could be. This is what we see in our Savior Jesus Christ. But the people had to be behind the door covered by the blood as Moses makes clear in verses 21-23. **12:21-23** Then Moses called all the elders of Israel and said to them, "Go and select lambs for yourselves according to your clans, and kill the Passover lamb. ²² Take a bunch of hyssop and dip it in the blood that is in the basin, and touch the lintel and the two doorposts with the blood that is in the basin. None of you shall go out of the door of his house until the morning. ²³ For the Lord will pass through to strike the Egyptians, and when he sees the blood on the lintel and on the two doorposts, the Lord will pass over the door and will not allow the destroyer to enter your houses to strike you. Then dropping down to verses 27-28. **12:27-28** ²⁷ you shall say, 'It is the sacrifice of the Lord's Passover, for he passed over the houses of the people of Israel in Egypt, when he struck the Egyptians but spared our houses.'" And the people bowed their heads and worshiped. ²⁸ Then the people of Israel went and did so; as the Lord had commanded Moses and Aaron, so they did.

The blood applied to the doors as an act of worship to God and faith in him to deliver them from his judgement would save those behind the blood. But what about those without the blood. This plague shows us that **without that blood, there is no deliverance**. Let's continue reading in verses 29-32. **12:29-32** At midnight the Lord struck down all the firstborn in the land of Egypt, from the firstborn of Pharaoh who sat on his throne to the firstborn of the captive who was in the dungeon, and all the firstborn of the livestock. ³⁰ And Pharaoh rose up in the night, he and all his servants and all the Egyptians. And there was a great cry in Egypt, for there was not a house where someone was not dead. In this case, without the blood on the doorposts and lintel, physical death was the result. But this pictures the situation that all of us are in from the day we are born. [Romans 5:12](#) says, [Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to](#)

all men because all sinned— There is a time appointed to everyone of us when this physical life will end. Hebrews 12:27 tells us, **27 And just as it is appointed for man to die once, and after that comes judgment...** But that judgment that awaits us after our physical death is pointing to a different kind of death that the Bible says we are currently living in even while we are physically alive. Ephesians 2 refers to the fact that we are actually spiritually dead in our sin which brings us under God's judgement – his wrath or anger against our sin. Ephesians 2:1-3 says, **2 And you were dead in the trespasses and sins 2 in which you once walked, following the course of this world, following the prince of the power of the air, the spirit that is now at work in the sons of disobedience— 3 among whom we all once lived in the passions of our flesh, carrying out the desires of the body and the mind, and were by nature children of wrath, like the rest of mankind.** We are spiritually dead facing an eternal death in hell without the blood of Jesus Christ applied to our lives, in the same way a plague of death came on those without the blood on their door.

But with the blood applied, **the deliverance that came was total and delivered with rewards.** Let's continue reading in verse 31. **³¹ Then he summoned Moses and Aaron by night and said, "Up, go out from among my people, both you and the people of Israel; and go, serve the Lord, as you have said. ³² Take your flocks and your herds, as you have said, and be gone, and bless me also!"** There were no conditions on this release. Pharaoh had been defeated – take everything you have and go...and by the way, when you worship pray for me to be blessed! Was Pharaoh really acknowledging the greater glory of the God of Israel? No, we see him change his mind later. But then we see not only total deliverance, but leaving with great loot or rewards from the Egyptians. Look at verse 36. **12:36³⁶ And the Lord had given the people favor in the sight of the Egyptians, so that they let them have what they asked. Thus they plundered the Egyptians.** Their deliverance or their salvation we could think of it as, did not just bring freedom, it brought some wealth. In a strange but supernatural twist, God had caused the Egyptians who watched the response of the Israelites during all these years to be favorably disposed to them. The people asked if they could have gold and silver items with monetary value to them as they began their new life, and those things were heaped on them by their neighbors. Did God have to do this? Of course not! But God's holiness as we saw a couple weeks ago, means his goodness. He would not just free his people from Egypt, he would take care of their needs and bless them. This is the same thing God does for his people today. While we have already seen the truth of the first part of **Romans 6:23, "For the wages of sin is death,"** here we see the truth of the second half of that verse... **"but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord."** And this life, this blessing from God of eternal life, doesn't begin in heaven after physical death, it begins at salvation, during our physical life on earth. So we read in **John 10:10** and see the lamb of God himself, Jesus Christ tell us, **10 The thief comes only to steal and kill and destroy. I came that they may have life and have it abundantly.** When we repent of our sin and look to Jesus for salvation by his blood he shed for us, we are not just given freedom from sin, we are given abundant life, life that is overflowing with God's grace and blessing whether we always recognize it or not.

So, the Exodus itself happens as we read in **Exodus 12:37-38. ³⁷ And the people of Israel journeyed from Rameses to Succoth, about six hundred thousand men on foot, besides women and children. ³⁸ A mixed multitude also went up with them, and very much livestock, both flocks and herds. And then verses 40-41... The time that the people of Israel lived in Egypt was 430 years. ⁴¹ At the end of 430 years, on that very day, all the hosts of the Lord went out from the land of Egypt.** And in this Exodus and the final words of chapter 12 we see an important final question answered. **Who can benefit from the passover lamb?** Look at the final verses 47-51. **12:47-51⁴⁷ All the congregation of Israel shall keep it. ⁴⁸ If a**

stranger shall sojourn with you and would keep the Passover to the Lord, let all his males be circumcised. Then he may come near and keep it; he shall be as a native of the land. But no uncircumcised person shall eat of it. ⁴⁹ There shall be one law for the native and for the stranger who sojourns among you.” ⁵⁰ All the people of Israel did just as the Lord commanded Moses and Aaron. ⁵¹ And on that very day the Lord brought the people of Israel out of the land of Egypt by their hosts. We rightfully think of this as being the deliverance of the Israelites, but we need to see it wasn't just for Israel. Verse 38 told us a “mixed multitude” left. There were people leaving who had applied the blood to their doors and were not Israelites. Then in verse 48 and 49, God includes in the annual Passover celebration not just Israelites, but foreigners willing to submit to sign of God's covenant—male circumcision. This is huge! From the very beginning salvation was not just for the Jews. Yes, God would bring the Savior through the Jewish people, but all of us even before Christ were united through this one coming Messiah. This is important, because after Christ in his church, we still represent this shedding of blood not with a Passover meal, but with the Lord's Supper. And just as the first passover meal was done in unity all throughout the million plus people who left Egypt, both Jews and non-Jews, we come to the Lord's Supper, the Lord's table in the same way. It represents the unity we have in Christ no matter where we are from or what language we speak. So, who can benefit from the blood of the lamb? Anyone! But, we have to benefit in the way God says. Only those covered in the blood, safe in their home behind the sacrificial blood of the lambs were spared and delivered. This pictured for the rest of time the way salvation would happen, our sin would be covered by the spotless blood of perfect lamb of God sacrificed in our place for our sin. That lamb is Jesus Christ. 1 Peter 1:18-21 tells us, ¹⁸ knowing that you were ransomed from the futile ways inherited from your forefathers, not with perishable things such as silver or gold, ¹⁹ but with the precious blood of Christ, like that of a lamb without blemish or spot. ²⁰ He was foreknown before the foundation of the world but was made manifest in the last times for the sake of you ²¹ who through him are believers in God, who raised him from the dead and gave him glory, so that your faith and hope are in God. We are rescued from our sin and restored to God our creator through the blood of God the Son, Jesus Christ. And Jesus tells us in John 6:37, ³⁷ All that the Father gives me will come to me, and whoever comes to me I will never cast out. Today, no matter who you are, where you are from or what you have done, you can come to Jesus, by repenting of your sins and accepting him as your Lord and Savior. When you do that, you will be covered by his blood and accepted by God the Father, and moved from a death sentence to eternal life.

If you have done that and shown your obedience by being baptized, then we invite you to join us in this Communion meal that came directly to us from the Passover celebration. If you have not yet accepted Christ or been baptized, then I would ask you to not participate, but to reflect on why we are doing this today and the sacrifice it represents that was made for you. For parents, the best way to show your children the importance of this meal is to not allow them to participate if they are not ready. After I pray, the Deacons will serve the bread and juice from the four corners of the sanctuary and we will eat together and drink together, representing the unity we have through the blood of Christ. Let's pray.